

# トヨタ純正

## カメラ別体型ドライブレコーダー

086A3-00210

086A3-B1040



### △注意

ルーフヘッドライニング及び車両ブラケットなどのエッジ部付近で配線作業する際は、ケガをする恐れがあるため、ケブラー手袋を着用してください。

### 注意

- ・誤って取り付けた場合、カメラ別体型ドライブレコーダーの正常な動作を阻害するばかりでなく、車両機能を損ない、ひいては車両故障につながる恐れがあります。
- ・取り付け作業は、ルーフヘッドライニングに無理な力を加えないで行ってください。
- ・ルーフヘッドライニングが折り曲がらないように注意してください。
- ・各作業の際、カメラレンズ部に工具などを当てたり、保護マットがない場所にカメラを置いたりしないでください。カメラレンズ部などに傷がつくことがあります。

### アドバイス

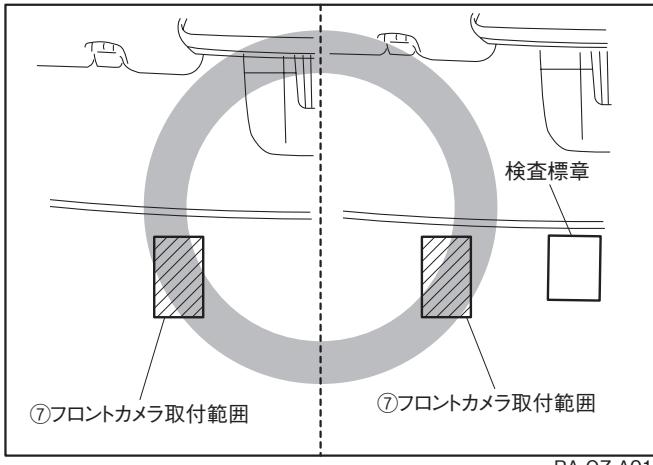
- ・道路運送車両の保安基準の細目を定める告示第195条第5項第二号による、道路及び交通状況に係る情報の入手のためのカメラに指定されている要件を満足しております。
- ・車種別取付要領書に記載されているカメラの取付位置は、「性能面（ワイヤー挿入範囲）」「法規制（フロントガラスの実直寸法20%以内へのカメラ取付）」などを考慮しています。必ず、車種別取付要領書通りの取り付けを行ってください。

## 構成部品



No.	品名	品番	個数	
			086A3 00210	086A3 B1040
①	ドライブレコーダー本体	086A4-00340	1	—
		086A4-B1040	—	1
②	本体ブラケット	—	—	1
③	スクリュ(M3×8mm)	—	—	3
④	型紙	—	—	1
⑤	microSDHCメモリーカード(32GB)	086A4-00360	1	—
⑥	SDカードアダプター	—	—	1
⑦	フロントカメラ	086A4-00350	1	—
⑧	コードホルダー	—	—	1
⑨	バンドクランプ	—	—	30
⑩	ハーネス固定テープ	—	—	2
⑪	保護シート	—	—	2
⑫	クリーナー	—	—	1
⑬	両面テープ	—	—	1
⑭	グロメット	—	—	1
⑮	テープ	—	—	1

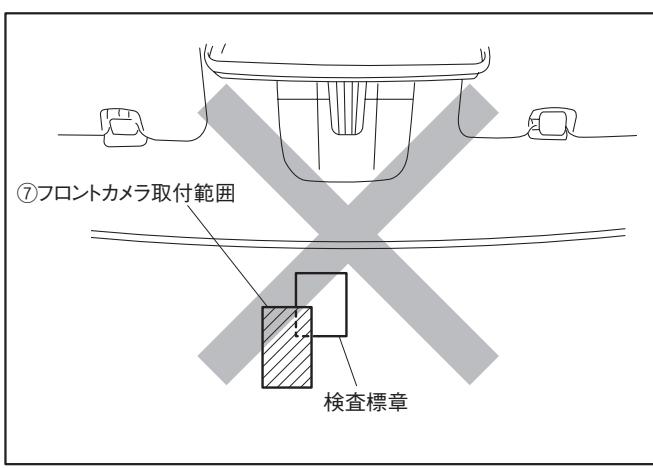
## カメラの取付要領



### ■ ⑦フロントカメラの取付条件

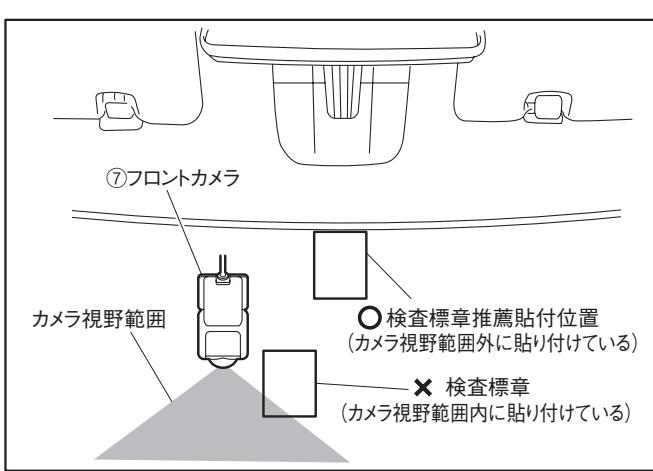
#### 注意

- ⑦フロントカメラは、検査標章（車検証シール）を貼り付けていない場合、または検査標章が⑦フロントカメラ取付範囲外に貼り付けてある場合に取り付けることができます。
- 新車時などに⑦フロントカメラを取り付ける場合、検査標章（車検証シール）を⑦フロントカメラ取付範囲外へ貼り付けてください。



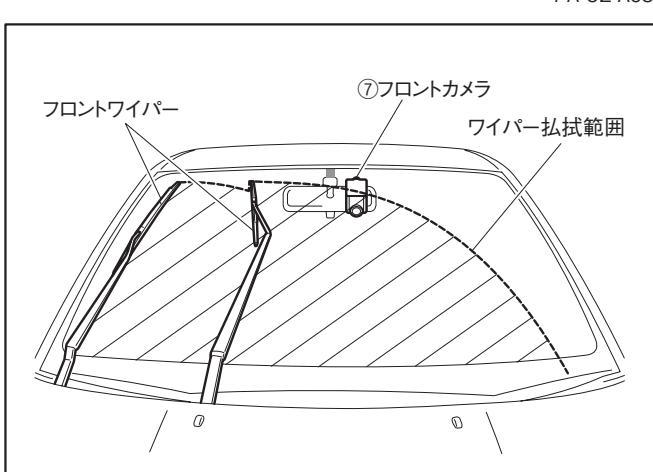
#### 注意

検査標章（車検証シール）が⑦フロントカメラ取付範囲に貼り付けてある場合、⑦フロントカメラを取り付けることができません。



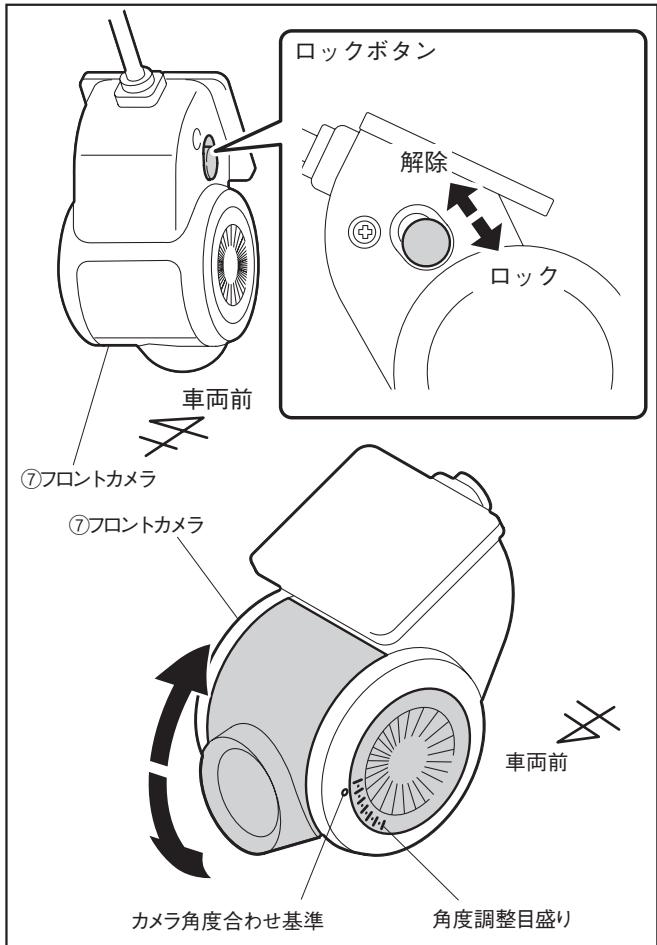
#### 注意

検査標章を貼り付ける際は、カメラ視野範囲外に貼り付けてください。カメラ視野範囲内に貼り付けると⑤microSDHCメモリーカードに記録される映像に検査標章が映り込みます。



#### 注意

⑦フロントカメラの撮影範囲がワイパー払拭範囲内にあることを確認してください。ワイパーの払拭範囲から外れた位置にあると雨天時など鮮明な映像が記録されない恐れがあります。



PA-OZ-A05

## ■⑦フロントカメラの取付前準備

### ・⑦フロントカメラの角度調整

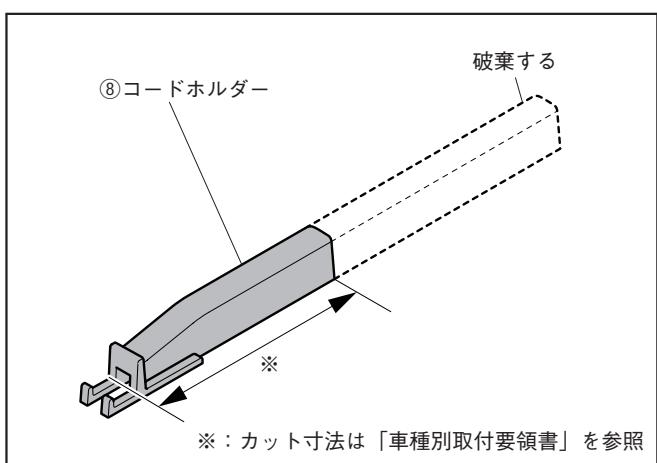
- (1)⑦フロントカメラ右側のロックボタンをスライドしてロックを解除する。
- (2)⑦フロントカメラ左側の角度調整目盛りとカメラ角度合わせ基準を合わせる。
- (3)ロックボタンをスライドしてロックする。

### 注意

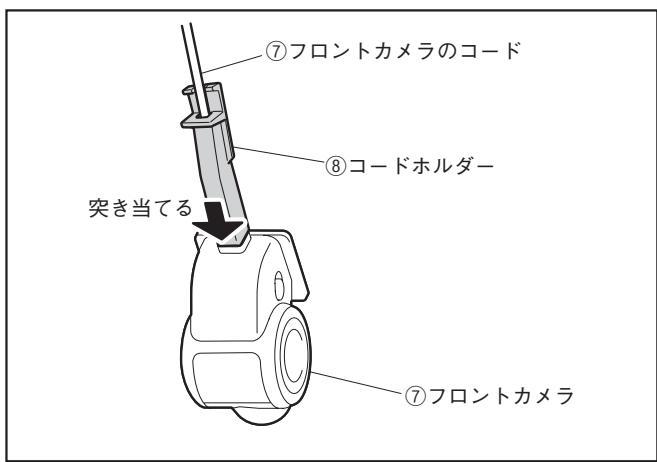
- ・しっかりとロックされ、がたつきなどが無いことを確認してください。
- ・カメラ映像に必要な情報が記録されない恐れがあるため、「車種別取付要領書」で指定されている位置に確実に調整してください。

### アドバイス

カメラ角度は車種により異なりますので「車種別取付要領書」を参照してください。



PA-OZ-A06



PA-OZ-A07

### ・⑧コードホルダーのカット

- (1)⑧コードホルダーを寸法通りカットする。

### アドバイス

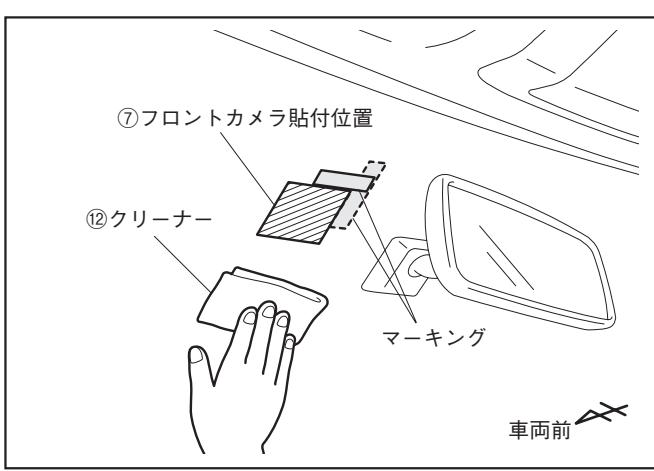
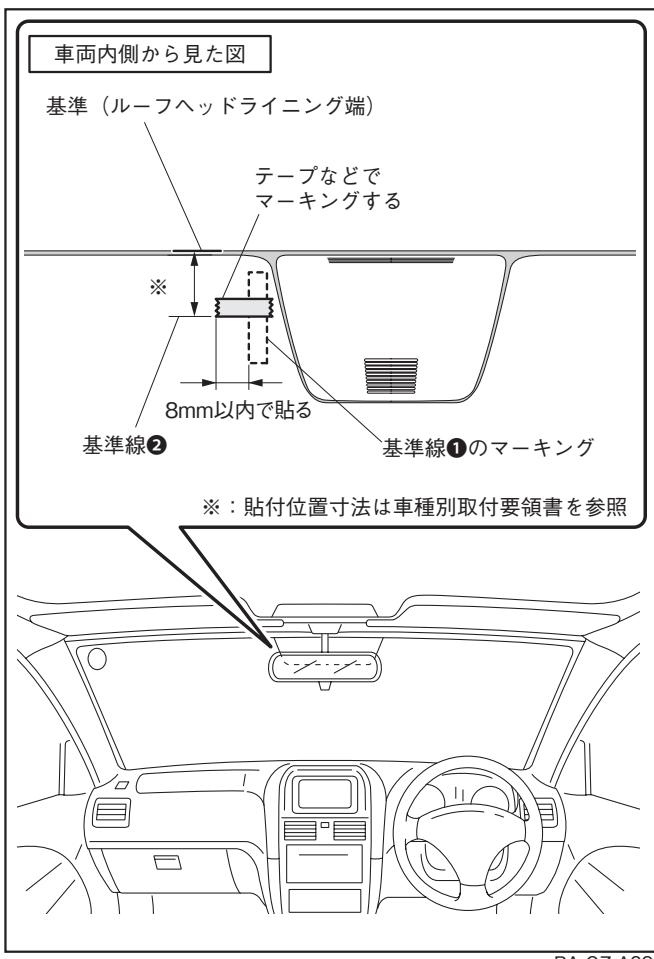
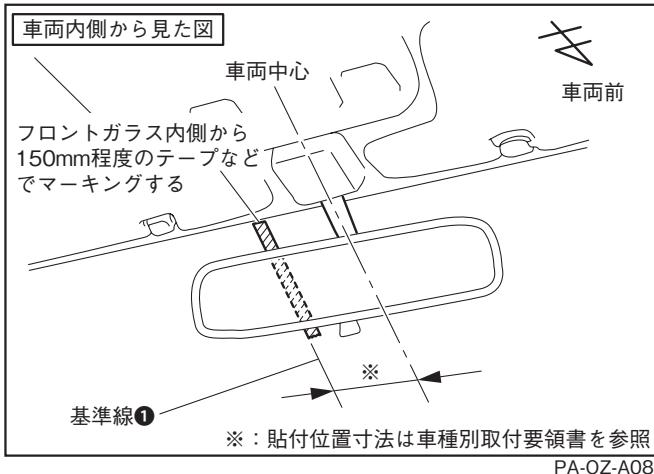
- ・⑧コードホルダー使用の有無及び、カット寸法は車種により異なりますので「車種別取付要領書」を参照してください。
- ・⑧コードホルダーは、はさみなどで寸法通り切って使用してください。

### ・⑧コードホルダーのセット

- (1)⑧コードホルダーに⑦フロントカメラのコードを通す。
- (2)⑧コードホルダーを⑦フロントカメラのコード根元に突き当てる。

### アドバイス

⑦フロントカメラのコードは溝にしっかりと差し込み、⑧コードホルダーを⑦フロントカメラに突き当てた位置にセットしてください。



## ■ ⑦フロントカメラの取り付け

### ・ 貼付位置のマーキング

- (1) ⑦フロントカメラの貼付用基準線①をマーキングする。

#### ■ アドバイス

- 図は、車両内側から見た図を示しています。
- 貼付位置寸法については「車種別取付要領書」を参照してください。
- テープなどでマーキングする際、テープなどの外側が基準線①になるようにしてください。
- 貼付用基準線①のマーキングを貼り付けるときは、地面に対して垂直に貼れていることを車両外側から確認してください。
- マーキングは、150mm程度の長さで行ってください。

- (2) 車両内側からテープなどで⑦フロントカメラの貼付用基準線②をマーキングする。

## 注意

基準線①のマーキングより8mm以内に基準線②のマーキングをしてください。8mm以上マーキングを行うと⑦フロントカメラ貼付後、基準線②のマーキングが外せなくなる恐れがあります。

#### ■ アドバイス

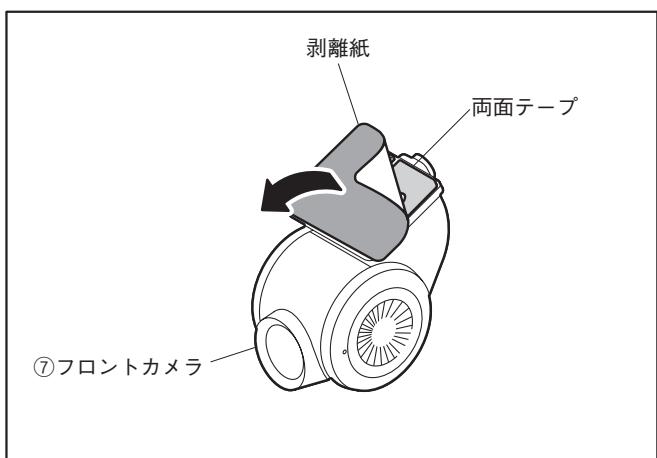
- 図は、車両内側から見た図を示しています。
- 貼付位置寸法については「車種別取付要領書」を参照してください。
- マスキングテープなどでマーキングする際、テープなどの下側が基準線②になるようにしてください。
- 貼付用基準線②のマーキングを貼り付けるときは、地面に対して水平に貼られていることを車両外側から確認してください。

### ・ 貼り付け面の清掃

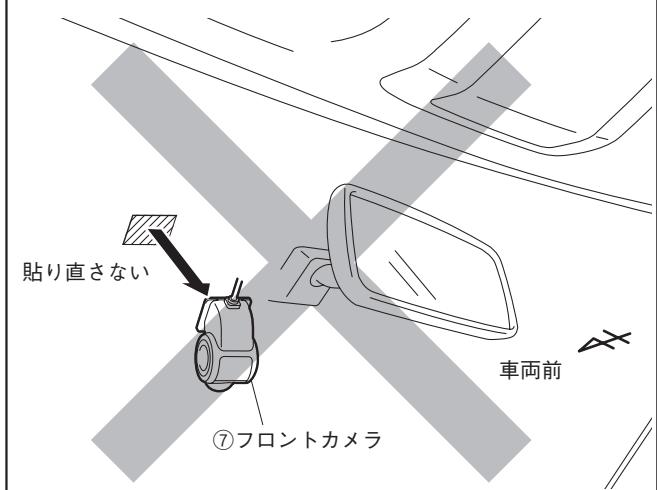
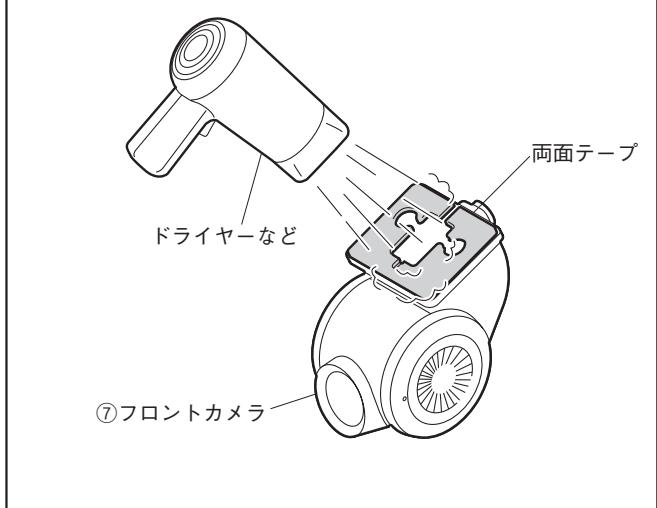
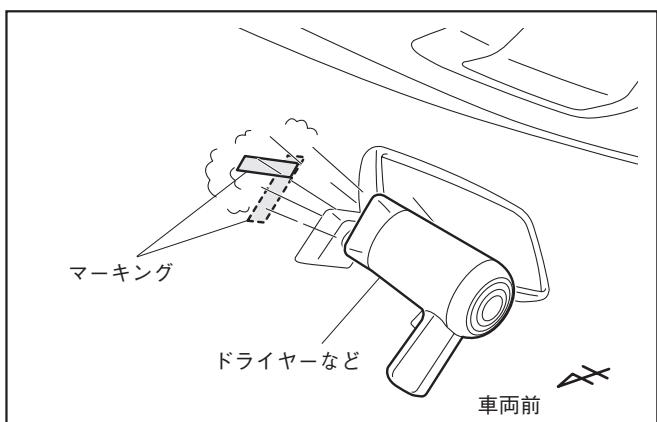
- (1) ⑦フロントカメラ貼付位置の汚れ、油分を同梱の⑫クリーナーで拭き取る。

## 注意

- 必ず同梱の⑫クリーナーを使用してください。同梱の⑫クリーナー以外を使用した場合、含まれる成分によっては⑦フロントカメラが貼り付かなくなる恐れがあります。
- 拭き取り後は、必ずガラス面が完全に乾いていることを確認してから次の作業を行ってください。



PA-OZ-A30



#### ・ ⑦フロントカメラの貼り付け

- (1) ⑦フロントカメラの両面テープから剥離紙を剥がす。

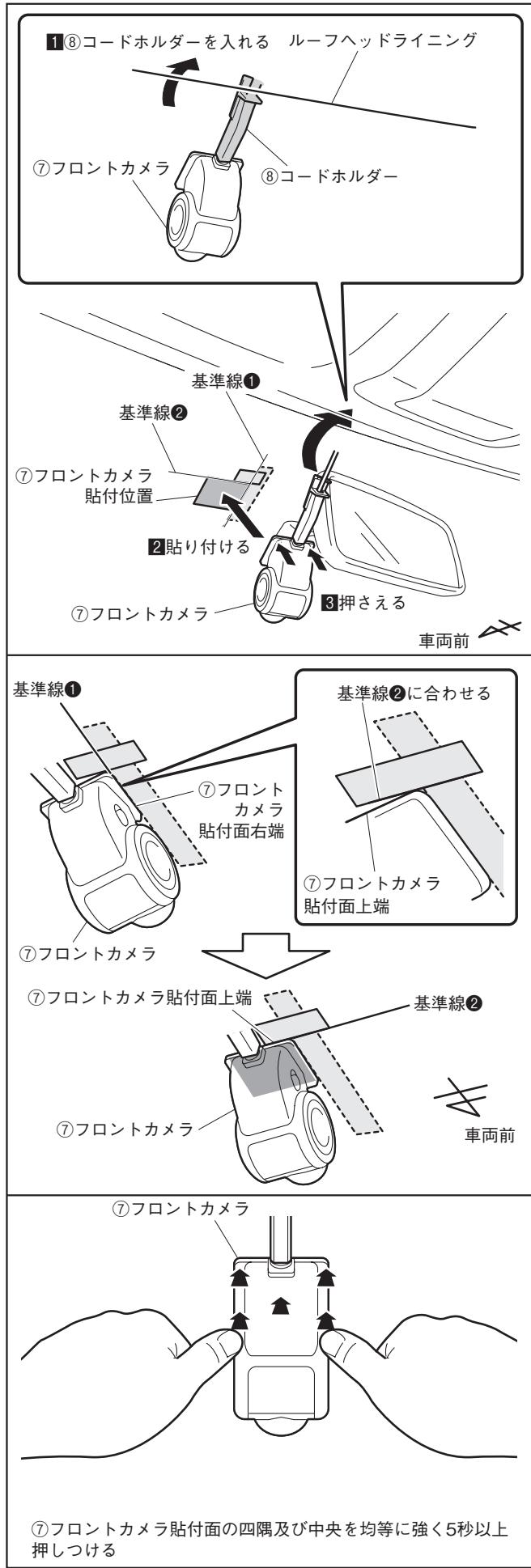
#### 注意

粘着力が落ち、⑦フロントカメラが落下する恐れがありますので、両面テープの粘着面に手で触れたりしないでください。

#### 注意

- ・ 作業環境（温度・湿気）に注意してください。
- ・ 温度が低い場合は、ドライヤーなどでフロントガラス面と⑦フロントカメラの両面テープ部を温めてから貼付作業を行ってください。
- ・ 温度について  
貼付作業時の環境温度は、15°C以上が推奨です。気温が低い時期（気温 15°C未満の作業環境など）は、両面テープの柔軟性が低下して、ガラス面と充分な粘着力が得られない場合があります。
- ・ 湿気について  
貼付部のガラス表面を乾燥させてください。室温に比べてガラス表面温度が低い場合は、結露によって水滴や湿気が付着しやすくなり、両面テープの粘着力が著しく低下します。
- ・ ⑦フロントカメラを温めすぎると、破損する可能性がありますので、両面テープを温める際は、数秒だけドライヤーなどで温めてください。
- ・ 粘着力が弱まり、落下する恐れがあるので、⑦フロントカメラを貼り直したりしないでください。
- ・ 貼付後、ガラスクリーナーなどを用いて附近を清掃する場合は、必ず 20 分以上放置後に行ってください。充分な時間が経たずにガラスクリーナーなどのスプレー や水分が付着すると、粘着力が低下し落下する可能性があります。
- ・ 本機を車体から取り外す場合は、貼付面の四隅を持ってください。本体部や可動部を持って剥がそうとすると、本機が破損する恐れがあります。

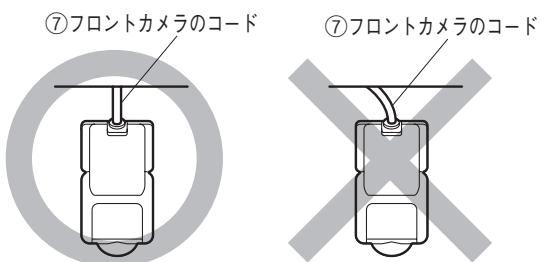
PA-OZ-A11



- (2)⑧コードホルダーをルーフヘッドライニングに収める。
- (3)基準線①に⑦フロントカメラ貼付面の右端を合わせ、同時に基準線②に⑦フロントカメラ貼付面の上端を合わせてフロントガラスに貼り付けよ。
- (4)⑦フロントカメラ貼り付け面の四隅及び中央を均等に強く5秒以上押し付ける。
- (5)⑦フロントカメラ貼り付け後、マーキングで使用したテープなどを剥がす。

### 注意

- ⑦フロントカメラ貼付の両面テープ部に水分が付着しないようにしてください。水分が付着した場合は、ドライヤーなどで乾燥させてください。
- 貼り付ける際、貼付位置表面の汚れ、水分、油分を充分拭き取ってください。
- 貼付時、フロントガラスと両面テープの間の空気（気泡）を抜くように、貼付面右端から左端へ徐々に貼り付けてください。
- 両面テープをしっかりと定着させるため、5秒以上⑦フロントカメラをフロントガラスに押しつけてください。
- 押しつける際、貼付面の四隅及び中央を押しつけるようにしてください。
- ⑦フロントカメラ貼付後、車両外側から見て両面テープの部分に気泡がないことを確認してください。
- ⑦フロントカメラ貼付時、⑦フロントカメラのコードをルーフヘッドライニングにまっすぐ引き込んでください。曲がっていると脱落の原因となります。



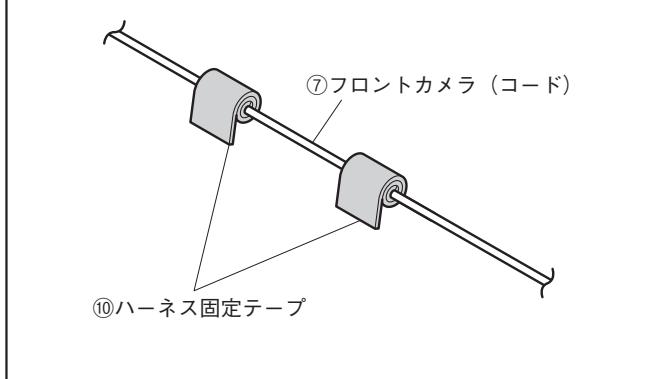
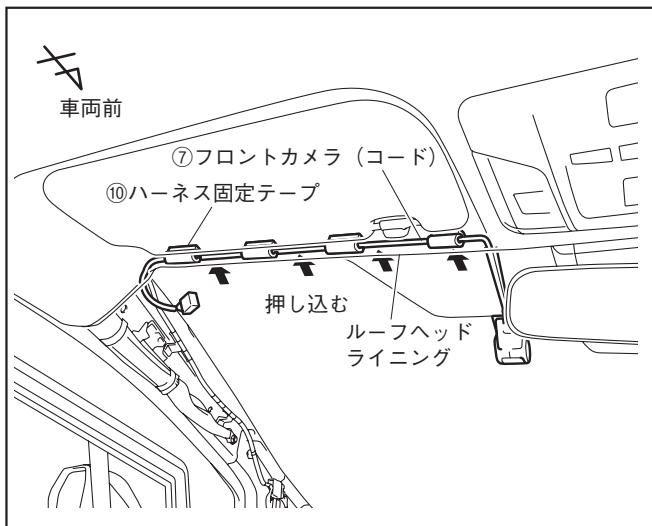
PA-OZ-A11

### アドバイス

基準線の位置については「車種別取付要領書」を参照してください。

PA-OZ-A12

## 配線作業要領



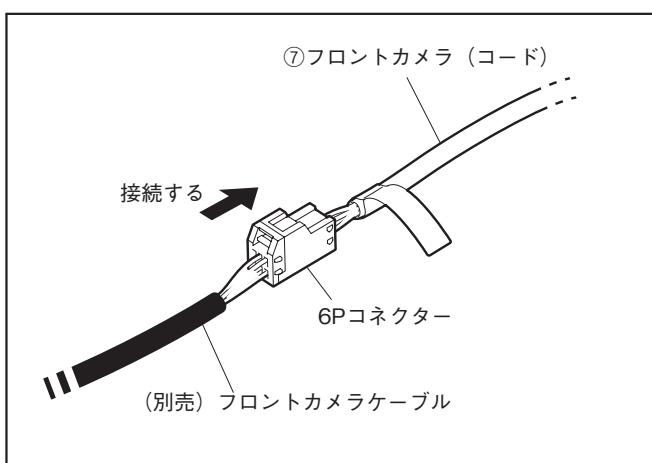
PA-OZ-A14

### ⑦フロントカメラ (コード) の配線

- (1) ⑩ハーネス固定テープを⑦フロントカメラ (コード) に巻き付け、ルーフヘッドライニング内に押し込み配線する。

#### アドバイス

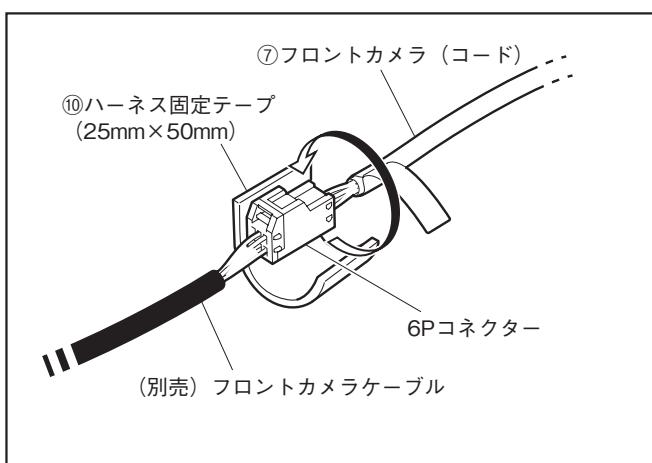
- ⑩ハーネス固定テープは、はさみなどで切って使用してください。(以降同様)
- ルーフヘッドライニングが下げるときにリムーバーなどを使用すると作業が容易に行えます。



PA-OZ-A15

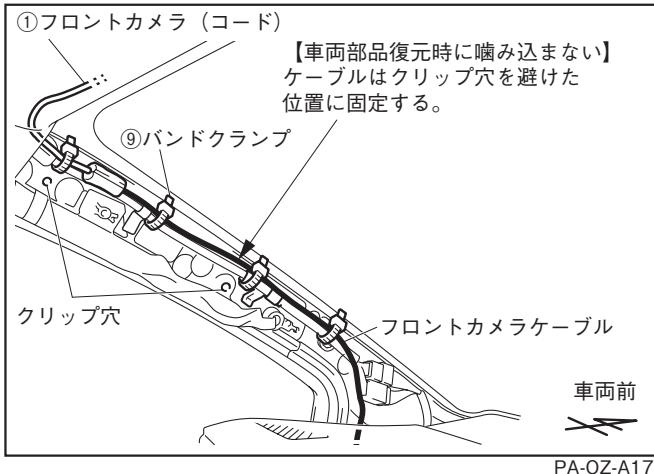
### フロントカメラケーブルの接続

- (1) ⑦フロントカメラ (コード) に別売のフロントカメラケーブルを接続する。



PA-OZ-A16

- (2) 異音防止のため、⑩ハーネス固定テープをコネクターに巻く。

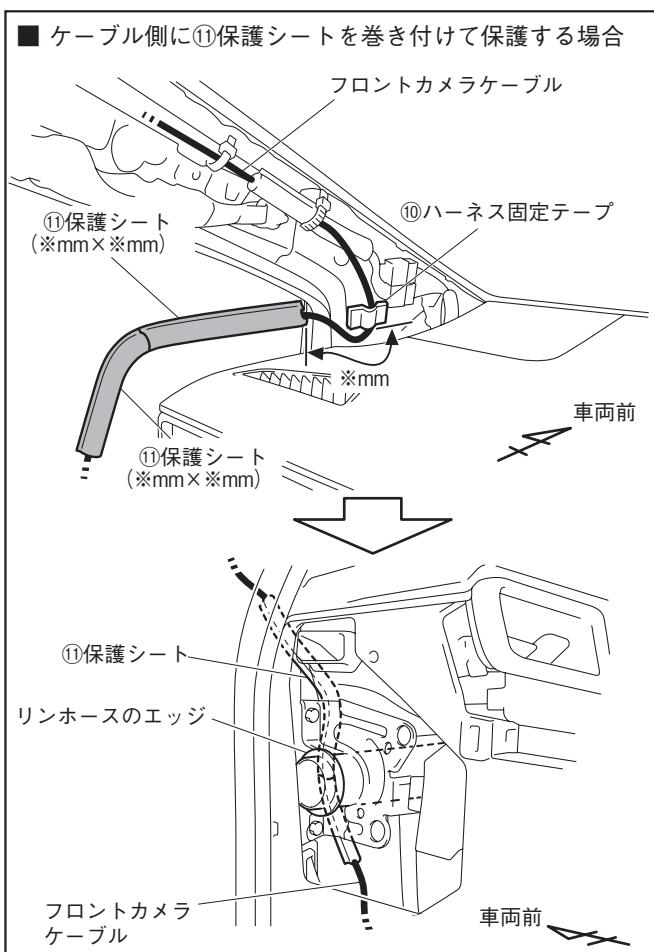


#### ・ フロントカメラケーブルの配線

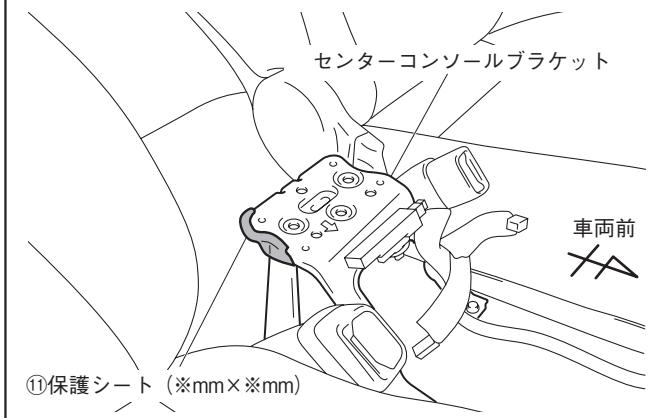
- (1) フロントカメラケーブルを⑨バンドクランプ及び⑩ハーネス固定テープで固定しながら配線する。

#### アドバイス

- 作業する際は車種ごとの必要作業が記載されている「車種別取付要領書」を参照してください。
- 「車種別取付要領書」で記載する⑦フロントカメラのコネクター位置が実際と異なる場合がありますが、クリップ穴やエッジを避けた位置で固定すれば問題ありません。



#### ■ 車両側エッジ部に⑪保護シートを貼り付け保護する場合



※：貼付位置、⑪保護シートカット寸法は車種別取付要領書を参照

- (2) フロントカメラケーブルを配線する際、エッジと干渉する場合にはケーブルもしくは車両のエッジ部に⑪保護シートを貼り付けて保護する。

#### △注意

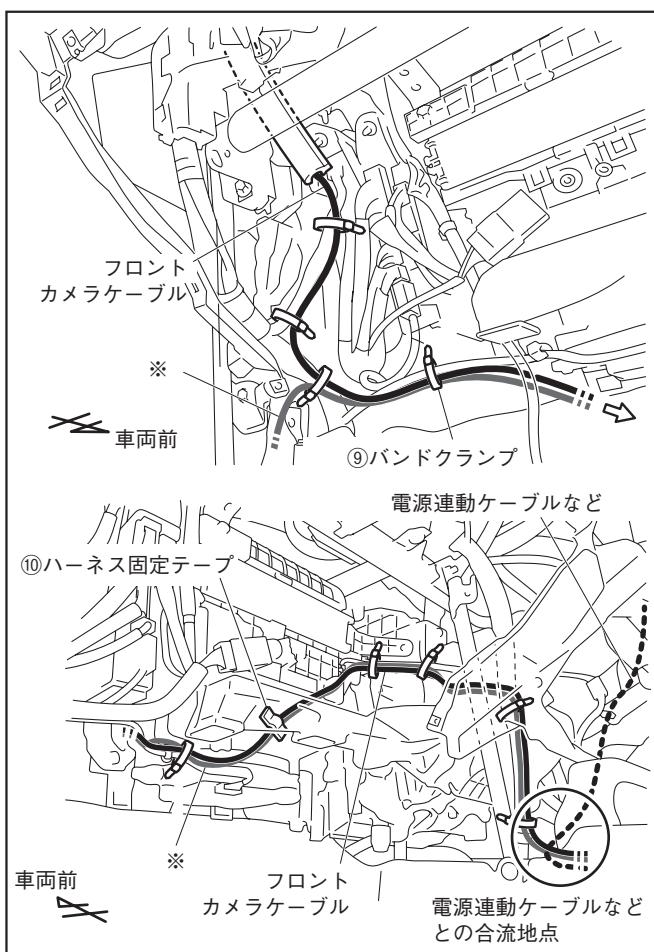
貼付位置表面の汚れ、水分、油分を充分拭き取る際は、ケブラ手袋を着用してください。

#### 注意

⑪保護シートを貼り付ける際は、貼付位置表面の汚れ、水分、油分を充分拭き取ってください。

#### アドバイス

- ⑪保護シートははさみなどで切って使用してください。(以降同様)
- 保護が必要な部位及び⑪保護シートの貼付寸法は「車種別取付要領書」を参照してください。

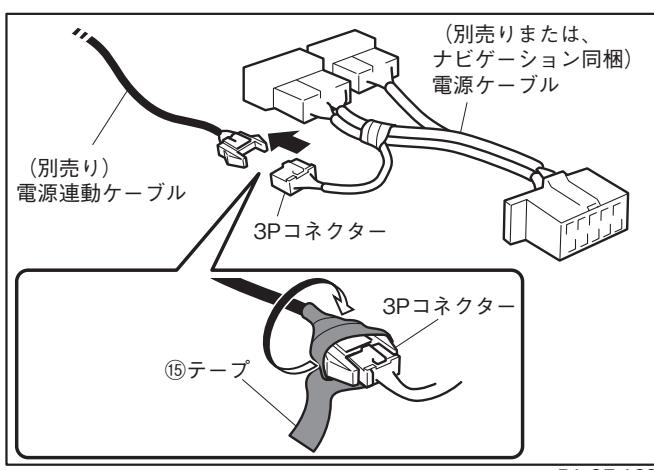


PA-OZ-A19

- (3) フロントカメラケーブルを電源連動ケーブルなどと合流する地点まで⑩ハーネス固定テープ及び⑨バンドクランプで固定しながら配線する。

#### ■アドバイス

- ※で示すように車種によっては配線途中で、後方ドライブレコーダーカメラなどのオプションカメラ用接続ケーブルが合流します。同時装着する際、各コードの保護及び固定はまとめて実施してください。
- 合流するタイミングは「車種別取付要領書」『カメラ別体型ドライブレコーダー（フロントカメラ）』の取付及び配線に記載されていますので、あらかじめ合流地点までのオプションカメラ用接続ケーブルの配線作業を実施してください。



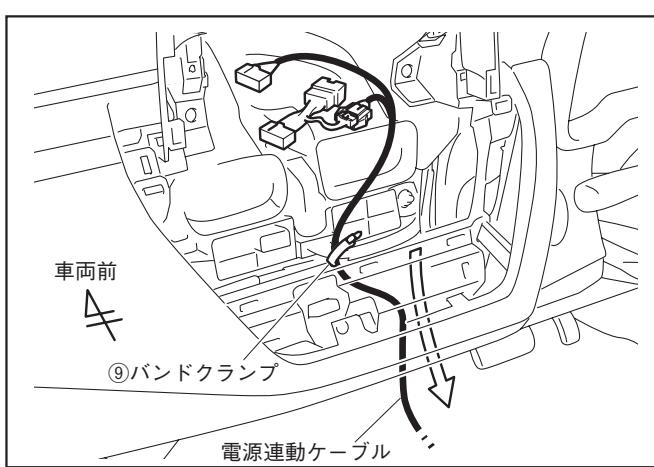
PA-OZ-A20

#### ・ 電源ケーブルの接続

- 電源連動ケーブルに別売りまたは、ナビゲーション同梱の電源ケーブルの3Pコネクターを接続する。
- 接続した状態でコネクターに同梱の⑯テープを巻いて固定する。

#### ■アドバイス

- 電源ケーブルは接続するナビゲーションの機種によって異なります。
- カメラ別体型ドライブレコーダーに同梱の⑯テープを使用してください。

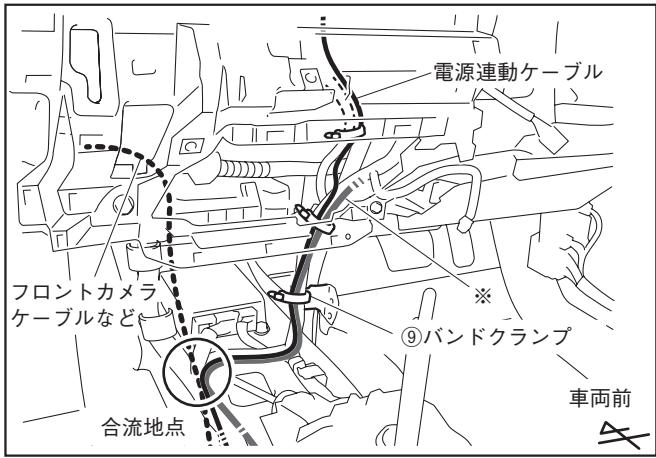


PA-OZ-A21

#### ・ 電源連動ケーブルの配線

#### ■ バックモニターの映像をドライブレコーダーに利用しない場合

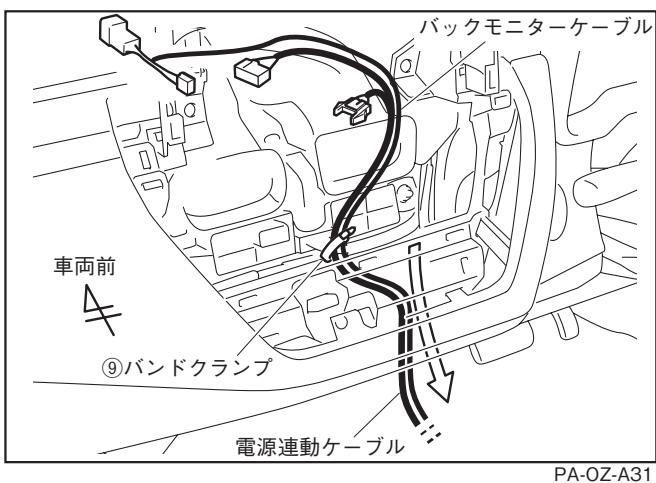
- 電源連動ケーブルを⑨バンドクランプ及び⑩ハーネス固定テープで固定しながら配線する。



(2) 電源連動ケーブルを⑨バンドクランプ及び⑩ハーネス固定テープで固定しながらフロントカメラケーブルなどとの合流地点まで配線する。

#### ■アドバイス

- ※で示すように車種によっては配線途中で、室内ドライブレコーダーカメラなどのオプションカメラ用接続ケーブルが合流します。同時装着する際、各コードの保護及び固定はまとめて実施してください。
- 合流するタイミングは「車種別取付要領書」『カメラ別体型ドライブレコーダー（フロントカメラ）』の取付及び配線に記載されていますので、あらかじめ合流地点までのオプションカメラ用接続ケーブルの配線作業を実施してください。

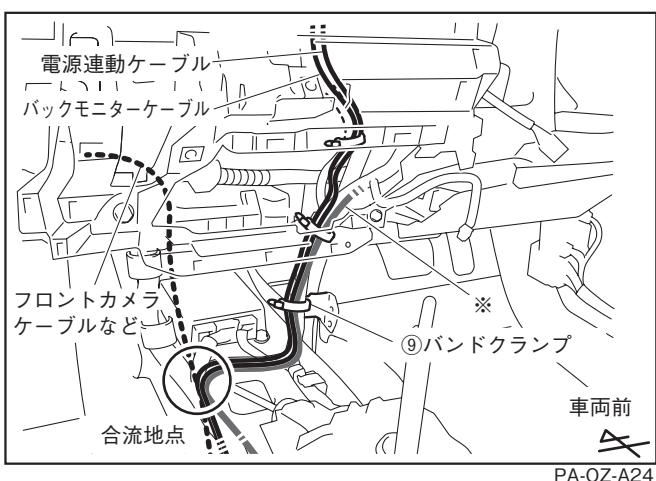


#### ■バックモニターの映像をドライブレコーダーに利用する場合

(1) 電源連動ケーブル及びバックモニターケーブルをまとめて⑨バンドクランプ及び⑩ハーネス固定テープで固定しながら配線する。

#### ■アドバイス

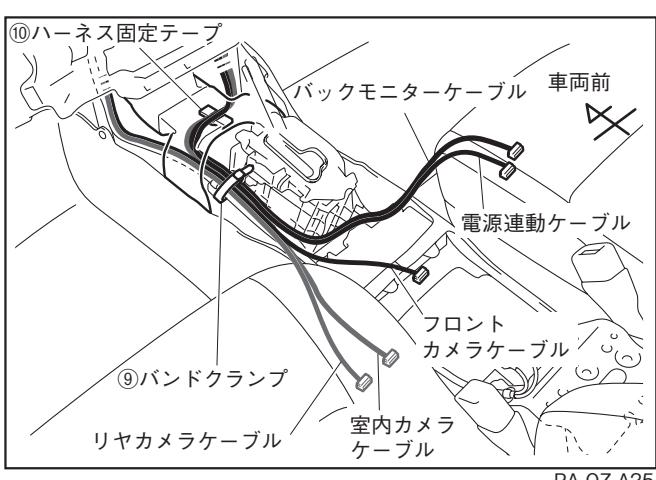
バックモニターケーブルは、車種により接続先及び経路や手順が異なりますので「車種別取付要領書」を参照してください。



(2) 電源連動ケーブル及びバックモニターケーブルを⑨バンドクランプ及び⑩ハーネス固定テープで固定しながらフロントカメラケーブルなどとの合流地点まで配線する。

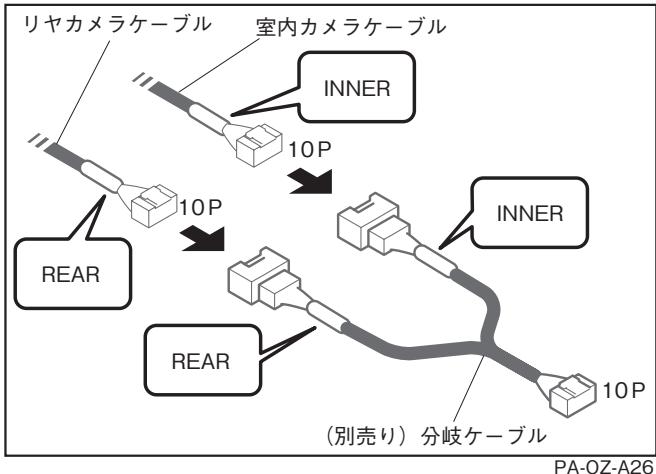
#### ■アドバイス

- ※で示すように車種によっては配線途中で、室内ドライブレコーダーカメラなどのオプションカメラ用接続ケーブルが合流します。同時装着する際、各コードの保護及び固定はまとめて実施してください。
- 合流するタイミングは「車種別取付要領書」『カメラ別体型ドライブレコーダー（フロントカメラ）』の取付及び配線に記載されていますので、あらかじめ合流地点までのオプションカメラ用接続ケーブルの配線作業を実施してください。



#### ・ 各ケーブルの配線

(1) 合流した各ケーブルをまとめて⑨バンドクランプ及び⑩ハーネス固定テープで固定しながら配線する。



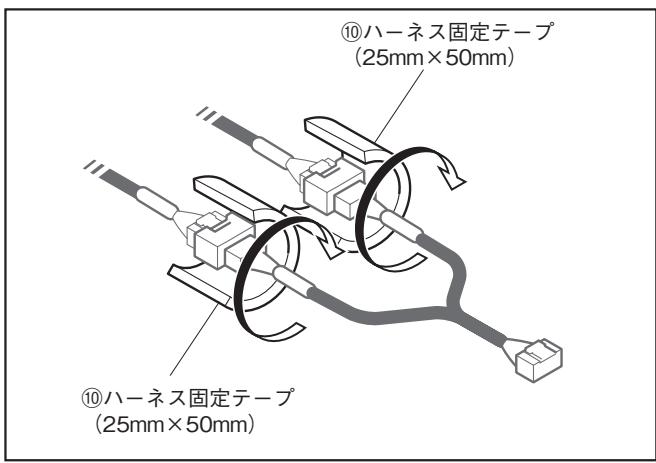
PA-OZ-A26

## ■ リヤカメラと室内カメラを共着する場合

(2) 室内カメラケーブル及びリヤカメラケーブルの10Pコネクターを別売りの分岐ケーブルに接続する。

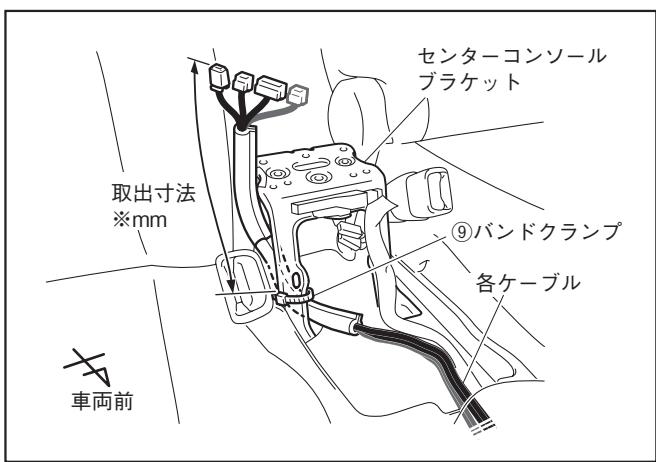
### 注意

コードのタグを確認し、同じ記載のタグ同士で接続してください。



PA-OZ-A27

(3) 異音防止のため、⑩ハーネス固定テープをコネクターに巻く。



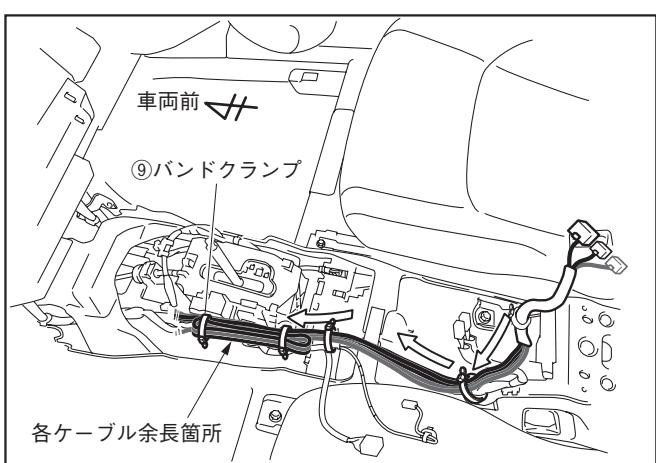
PA-OZ-A28

## ■ 共通

(4) ①ドライブレコーダー本体に接続する各コネクターの取出寸法を確保し、⑨バンドクランプで固定する。

### アドバイス

作業する際は、車種ごとの必要作業が記載されている「車種別取付要領書」を参照してください。



PA-OZ-A29

(5) 各ケーブルの余長を車両前側に引き込み束ねて、⑨バンドクランプで車両ハーネスに固定する。

### 注意

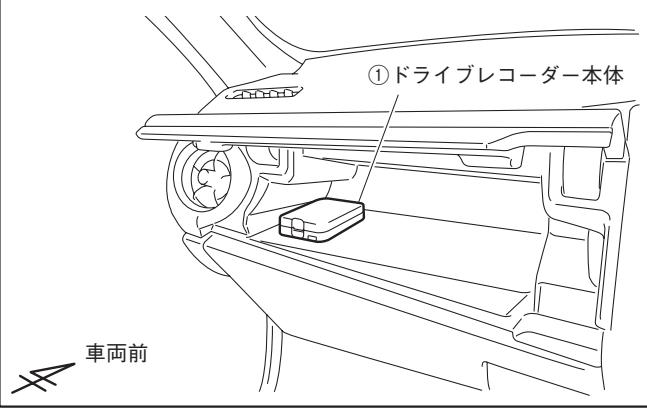
- 余長分となった各ケーブルが、車両可動部に干渉しないように固定してください。
- 余長分となった各ケーブルは、かみ込まないように束ねて⑨バンドクランプを使用して固定してください。

### アドバイス

余長固定位置及び固定方法は「車種別取付要領書」を参照してください。

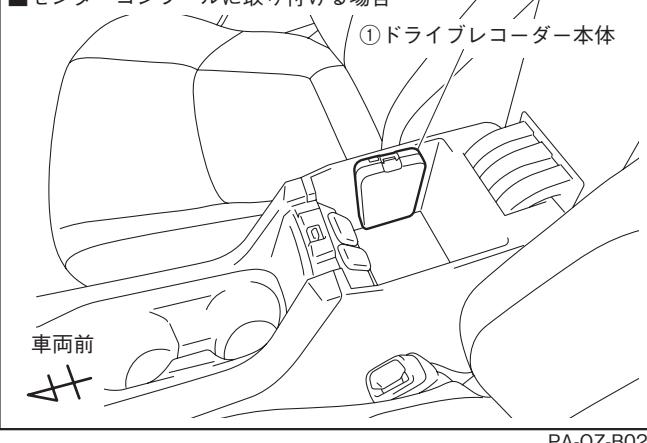
## ドライブレコーダー本体の取付要領

### ■インパネボックスに取り付ける場合

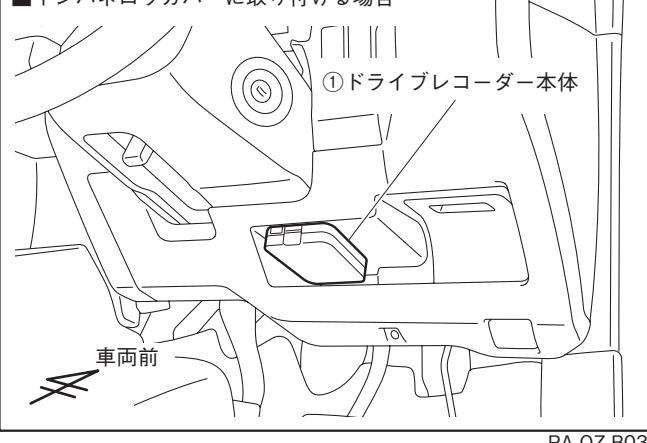


### ■① ドライブレコーダー本体の取付位置(例)

### ■センターコンソールに取り付ける場合



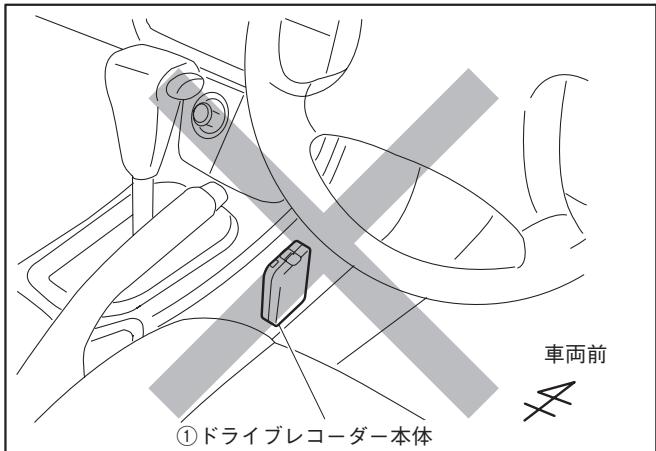
### ■インパネロワカバーに取り付ける場合



### ■センターロアアパネルに取り付ける場合



PA-OZ-B04

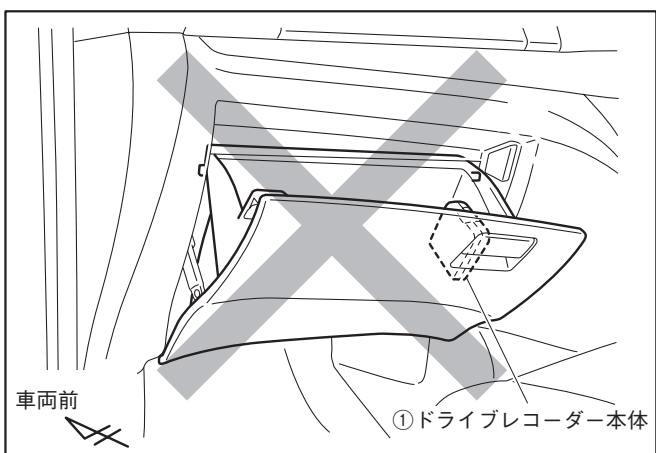


PA-OZ-B05

### ■ ① ドライブレコーダー本体の取付条件

#### △注意

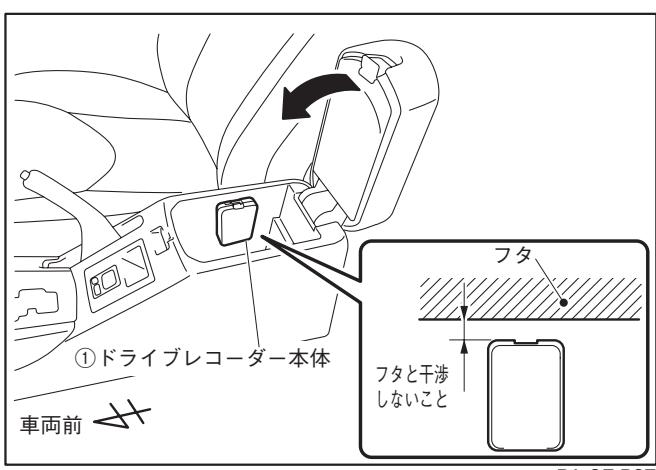
運転席の足元付近など搭乗者が容易に触れてしまうような場所に①ドライブレコーダー本体を取り付けないでください。長時間、身体に触れていると低温やけどをおこす恐れがあります。



PA-OZ-B06

#### 注意

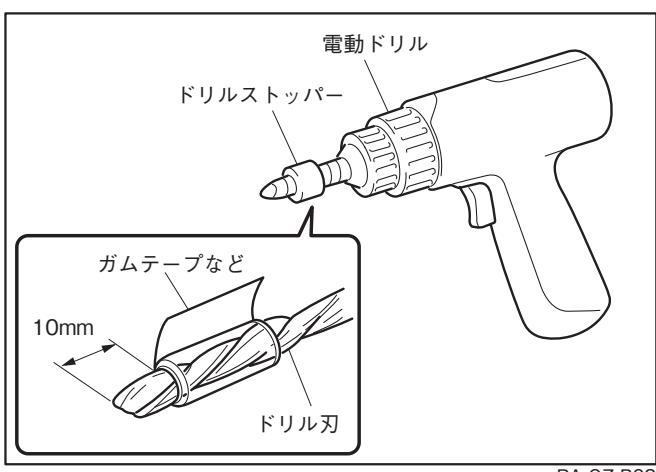
グローブボックスなどの可動するような場所に①ドライブレコーダー本体を取り付けないでください。衝撃を正しく検知できず、誤って作動したり衝撃があっても作動しないことがあります。



PA-OZ-B07

#### 注意

センターコンソールなどに取り付ける場合は、フタが閉じた状態で①ドライブレコーダー本体と干渉しないことを確認してください。



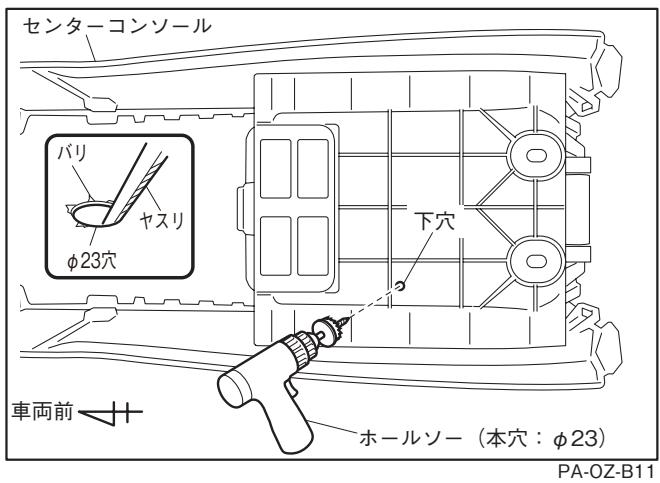
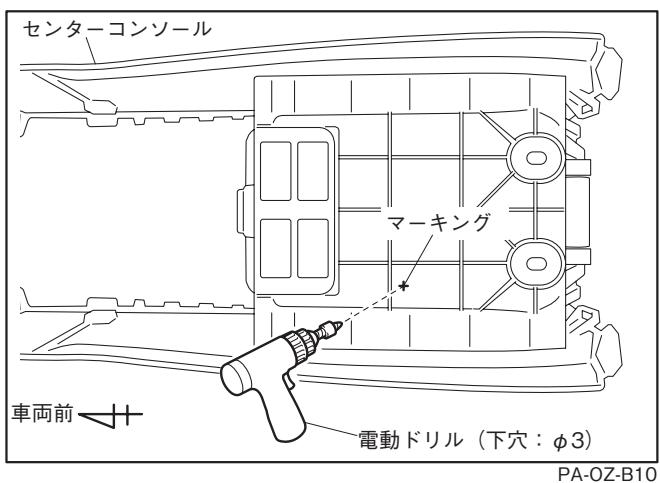
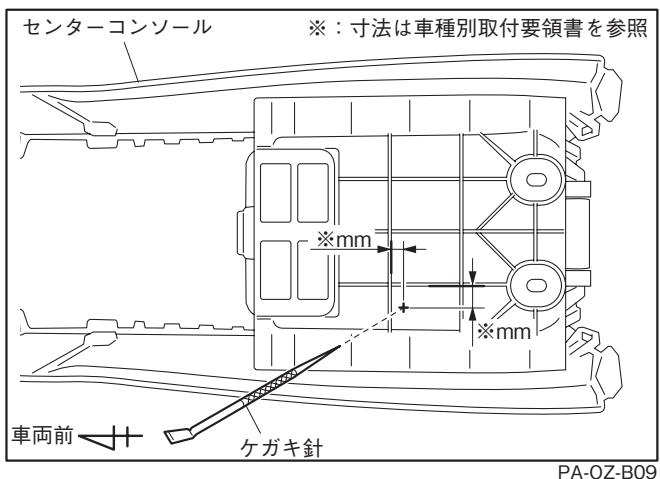
PA-OZ-B08

### ■ 車両部品の加工

#### ・ 加工作業前の準備

#### 注意

電動ドリルの刃を必要以上挿入しないように刃の先端から10mmの位置にテープを巻き付けてください。



### ・配線穴加工

#### ■ φ 23 の配線穴をあける場合

(1) 指定寸法の位置にケガキ針でマーキングする。

#### アドバイス

指定寸法は車種ごとの必要作業が記載されている「車種別取付要領書」を参照してください。

#### 注意

車両部品傷付き防止のため、必ず保護マットの上で作業してください。(以降同様)

(2) マーキング位置に電動ドリルで下穴（φ 3）をあける。

#### △注意

- 電動ドリルを使用する際は必ず保護めがねを着用してください。
- ドリルに巻き込まれる恐れがあるため手袋などは着用しないでください。

#### 注意

電動ドリルは、穴をあける面に対して垂直に当ててください。

(3) 下穴をあけた位置にホールソーで本穴（φ 23）をあける。

#### △注意

- ホールソーを使用する際は必ず保護めがねを着用してください。
- ホールソーに巻き込まれる恐れがあるため手袋などは着用しないでください。

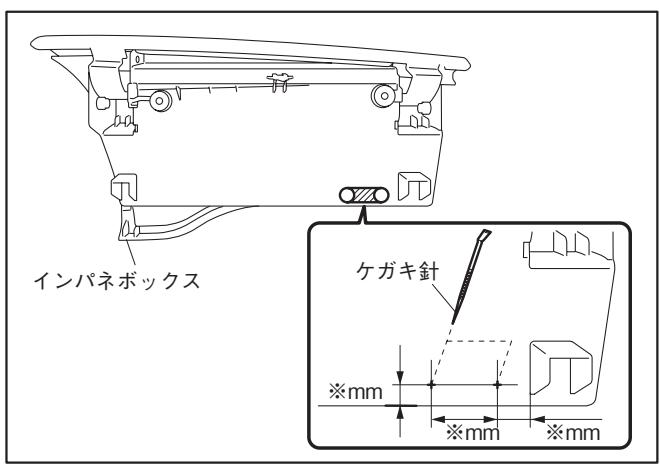
#### 注意

ホールソーは、穴をあける面に対して垂直に当ててください。

(4) φ 23 穴のバリをヤスリなどで取り除く。

#### △注意

カッターナイフなどを使用する際は、ケブラ手袋を着用してください。



PA-OZ-B12

## ■ φ 16 の配線穴（長穴）をあける場合

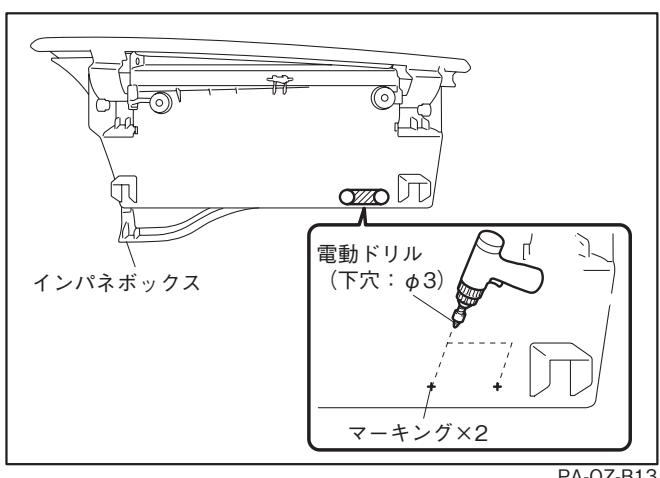
(1) 指定寸法の位置にケガキ針でマーキングする。

### 注意

車両部品傷付き防止のため、必ず保護マットの上で作業してください。(以降同様)

### アドバイス

指定寸法は車種ごとの必要作業が記載されている「車種別取付要領書」を参照してください。



PA-OZ-B13

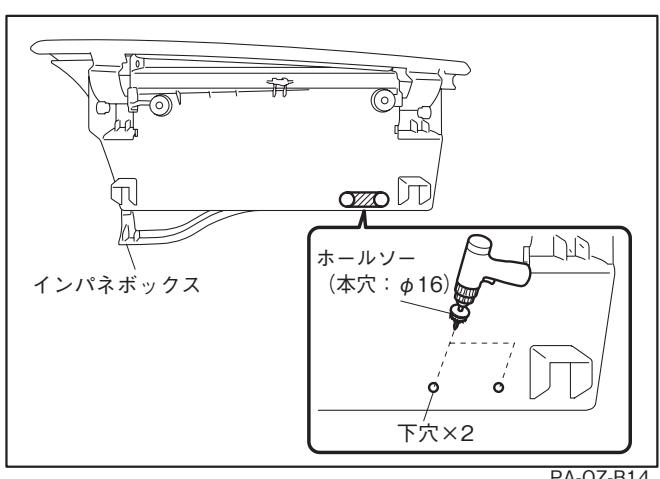
(2) マーキング位置に電動ドリルで下穴（ $\phi 3$ ）を2箇所あける。

### △注意

- 電動ドリルを使用する際は必ず保護めがねを着用してください。
- ドリルに巻き込まれる恐れがあるため手袋などは着用しないでください。

### 注意

電動ドリルは、穴をあける面に対して垂直に当ててください。



PA-OZ-B14

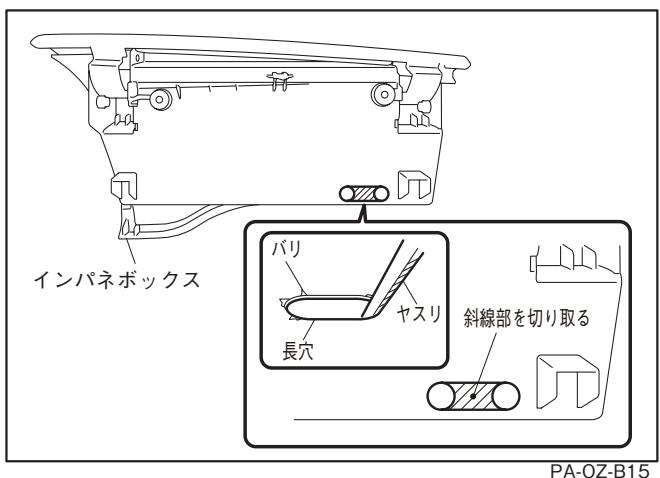
(3) 下穴をあけた位置にホールソーで本穴（ $\phi 16$ ）を2箇所あける。

### △注意

- ホールソーを使用する際は必ず保護めがねを着用してください。
- ホールソーに巻き込まれる恐れがあるため手袋などは着用しないでください。

### 注意

ホールソーは、穴をあける面に対して垂直に当ててください。



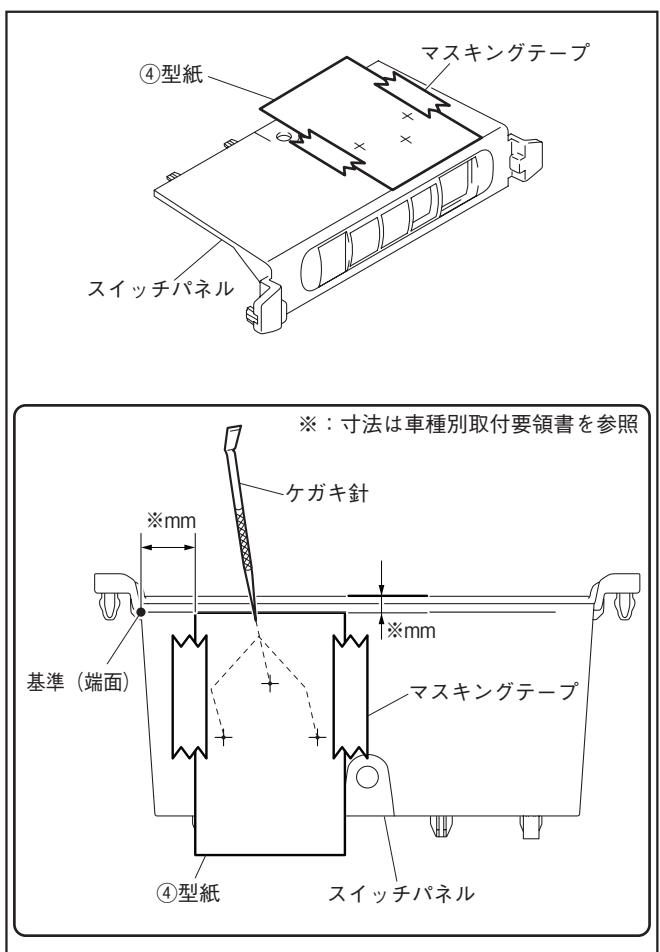
PA-OZ-B15

(4) 図中斜線部を切り取り、長穴加工する。

(5) 長穴加工部のバリをヤスリなどで取り除く。

### △注意

カッターナイフなどを使用する際は、ケブラ手袋を着用してください。



PA-OZ-B16

### ・本体取付穴加工

#### アドバイス

本体取付穴加工作業の有無は車種により異なります。必要作業が記載されている「車種別取付要領書」を参照してください。

### ■②本体ブラケット取付用穴をあける場合

- (1) 指定寸法の位置にマスキングテープなどで④型紙を貼り付ける。
- (2) ④型紙の+印中心にケガキ針で3箇所マークイングする。

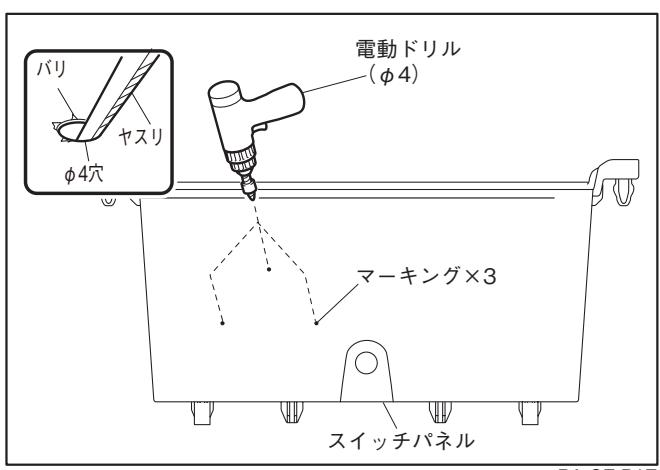
#### アドバイス

指定寸法は車種ごとの必要作業が記載されている「車種別取付要領書」を参照してください。

### 注意

車両部品傷付き防止のため、必ず保護マットの上で作業してください。(以降同様)

- (3) ④型紙を取り外す。



PA-OZ-B17

- (4) マークイング位置に電動ドリルで本穴 ( $\phi 4$ ) を3箇所あける。

### △注意

- ・ 電動ドリルを使用する際は必ず保護めがねを着用してください。
- ・ ドリルに巻き込まれる恐れがあるため手袋などは着用しないでください。

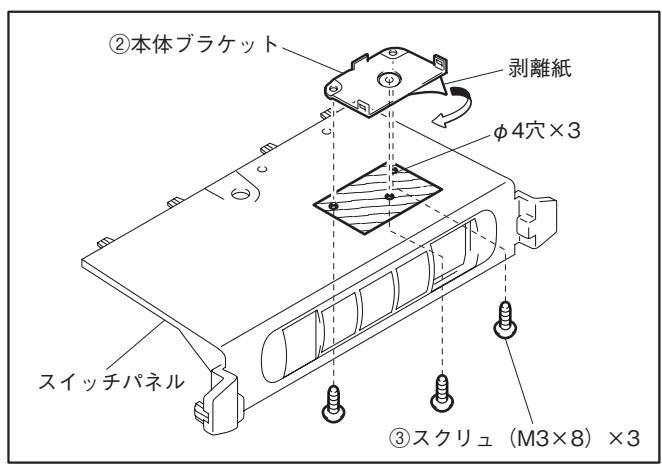
### 注意

電動ドリルは、穴をあける面に対して垂直に当てるください。

- (5)  $\phi 4$ 穴のバリをヤスリなどで取り除く。

### △注意

カッターナイフなどを使用する際は、ケブラ手袋を着用してください。



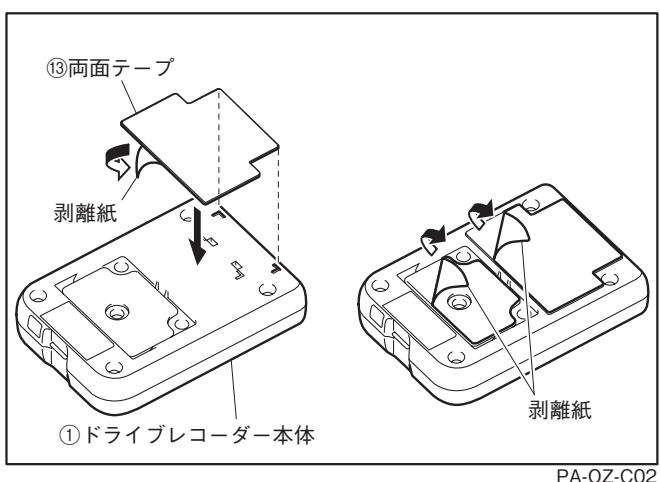
### ■ ① ドライブレコーダー本体の取付

■ 本体取付穴をあける場合 (③スクリュと⑯両面テープで固定する場合)

- (1) ②本体ブラケットの剥離紙を剥がし、取付穴と加工部品の取付穴を合わせて貼り付ける。
- (2) ②本体ブラケットを③スクリュ (M3 × 8mm) 3本で固定する。

### 注意

- ・ 車両部品傷付き防止のため、必ず保護マットの上で作業してください。(以降同様)
- ・ 貼付位置表面の汚れ、水分、油分を充分に拭き取ってください。

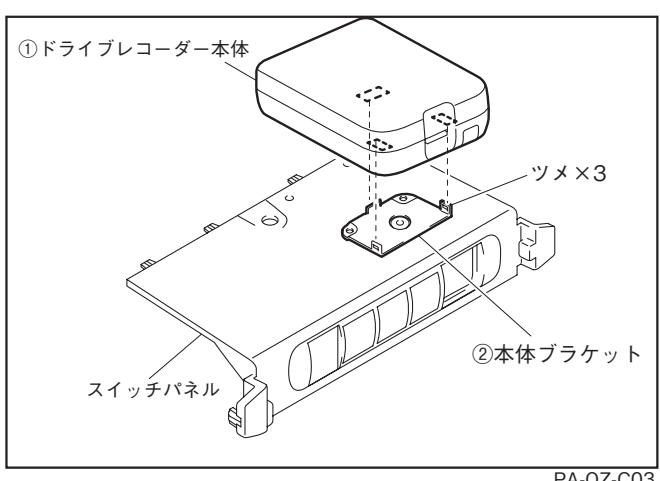


- (3) ⑯両面テープの剥離紙を片面剥がし、① ドライブレコーダー本体に貼り付ける。

- (4) ① ドライブレコーダー本体に既設されていた両面テープの剥離紙と⑯両面テープのもう片面の剥離紙を剥がす。

### 注意

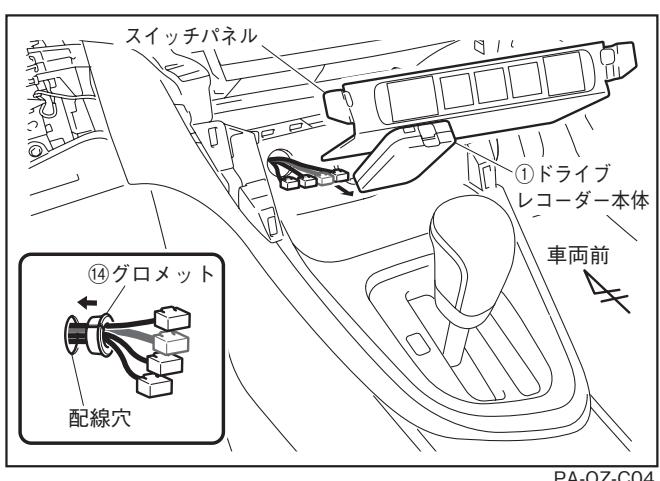
- 粘着力が落ちる恐れがありますので、両面テープの粘着面に手で触れたりしないでください。



- (5) ① ドライブレコーダー本体を②本体ブラケットに取り付ける。

### 注意

- ① ドライブレコーダー本体を②本体ブラケットに貼り付ける際、ツメが「カチッ」というまで押してください。



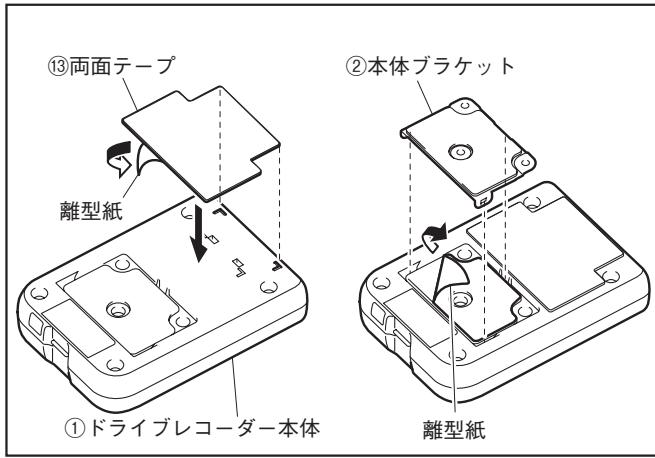
- (6) 車両部品を車室内に戻し、配線穴に各ケーブルを通す。

- (7) 各ケーブルを① ドライブレコーダー本体に接続する。

- (8) ⑭ グロメットに各ケーブルを通して、配線穴に嵌合する。

### アドバイス

- ⑭ グロメット使用の有無は、車種により異なります。車種別に必要な要領が記載されている「車種別取付要領書」を必ず参照してください。

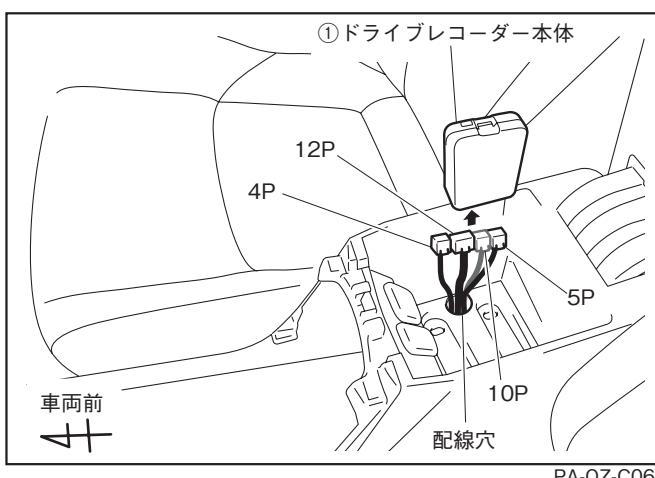


PA-OZ-C05

## ■ 本体取付穴をあけない場合

### (⑬両面テープのみで固定する場合)

- (1) ⑬両面テープの剥離紙を片面剥がし、①ドライブレコーダー本体に貼り付ける。
- (2) ①ドライブレコーダー本体に既設されていた両面テープの剥離紙を剥がし、②本体ブラケットのツメを嵌合し貼り付ける。



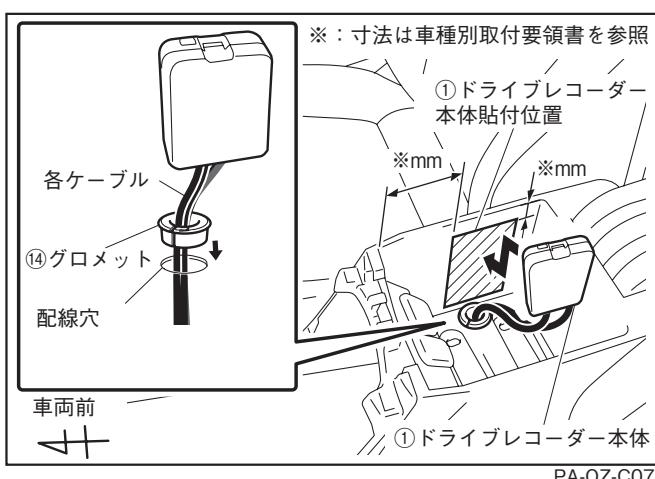
PA-OZ-C06

- (3) 車両部品を車内に戻し、各ケーブルを配線穴に通す。

- (4) 各コネクターを①ドライブレコーダー本体に接続する。

### アドバイス

- ・ 10P コネクターはリヤカメラや室内カメラを装着する場合のみ接続します。
- ・ 4P コネクターはバックモニターの映像をドライブレコーダーに利用する場合のみ接続します。



PA-OZ-C07

- (5) ⑭グロメットに各ケーブルを通し、配線穴に嵌合する。

- (6) ②本体ブラケット及び両面テープの剥離紙を剥がす。

- (6) 指定寸法に従い、①ドライブレコーダー本体をセンターコンソールボックスに貼り付ける。

### 注意

- ・ 車両部品傷付き防止のため、必ず保護マットの上で作業してください。(以降同様)
- ・ 貼付位置表面の汚れ、水分、油分を充分に拭き取ってください。

### アドバイス

指定寸法は車種ごとの必要作業が記載されている「車種別取付要領書」を参照してください。

## 取付・配線の確認

### 注意

工場装着ディスプレイオーディオでの設定方法は、取扱書を参照して作業してください。

- (1)接続する各ナビゲーションの「各品目（機種）の概要」のドライブレコーダー取付調整を参照し、取付・配線の確認を実施してください。

## センサー調整・作動確認・映像の削除

### 注意

工場装着ディスプレイオーディオでの設定方法は、取扱書を参照して作業してください。

- (1)接続する各ナビゲーションの「各品目（機種）の概要」のドライブレコーダー取付調整を参照し、センサー調整・作動確認・映像の削除を実施してください。

## 結線方法

